

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 201

政策体系	41	事業分類	ソフト事業	所管部局	日吉支所 健康福祉課
会計	一般会計	科目	3. 民生費 - 1. 社会福 - 2. 地域セ 現年		
事業名	地域交流活性化支援事業				
細事業名	興風交流センター地域交流活性化支援事業				
				評価表作成者	日吉支所 健康福祉課 野口 武司

1. 事業の概要

人権課題早期解決のために住民交流をはかる各種講座開設事業を実施。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

地域及び周辺地域の住民の社会的、経済的、文化的向上を図り、生活上の課題やさまざまな人権課題の解決に資するために講座の開設事業を実施する。

②事業を実施する必要性

地域及び周辺地域の住民の社会的、経済的、文化的向上のため各種講座を開設し、そして受講生の交流により人権課題の早期解決を目指すための各種講座開設事業で、人権課題早期解決のためには必要な事業である。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	2,102	1,184	1,752	1,301	1,509	1,417	2,244
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	295	333	335	323	323
	国・府支出金	千円	0	443	708	483	517	492
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,102	446	711	483	669	602
職員等の従事人員	人/年	—	1.00	1.37	0.90			
人件費	千円	—	2,847	4,415	3,068			
事業費総額	千円	—	4,031	6,167	4,370			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

報償費 講師謝礼	731,000円
需用費 消耗品 教室材料代	250,459円
使用料及び賃借料 映画フィルム等借上げ料	315,000円

5. 事業結果の概要

住民交流を通して広く相互理解が深まった。
 人権講演会 約20人の参加
 大正琴教室 受講生 9人 23回実施
 生花教室 受講生13人 24回実施
 親子交流映画会 約60人の参加
 ふれあい会（世代交流事業）20人参加
 寄せ植え教室 参加者23人
 児童交流事業 5回実施延べ参加者 約320人

6. 活動の詳細

ふれあい会		
グラウンドゴルフ等スポーツによる世代交流	平成22年10月16日	参加者20人
映画会		
親子交流映画会「カールじいさんの空飛ぶ家」鑑賞	平成22年10月16日	参加者59人
寄せ植え教室		
迎春寄せ植えによる住民交流	平成22年12月11日	参加者23人
講演会		
人権講演会	平成23年3月25日	参加者19人
児童交流事業		
事業（木工教室、デイキャンプ、夕涼み会、クッキングとおはなし会、クリスマス会）を通じた児童交流	平成22年6月～12月	参加者延べ220人
生花教室		
生花及びフラワーアレンジメント	平成22年4月～23年3月	生花20回、アレンジメント4回開催 受講生13人
大正琴教室		
大正琴の練習及び文化祭の出演等	平成22年4月～23年3月	月2回23回開催 受講生9人

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

人権問題の早期解決のため、地域及び周辺地域住民の交流を促し、社会的、文化的向上を図った。引き続き魅力ある事業を企画し、幅広い参加者の増加を目指す。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

人権課題の早期解決のため、地域及び周辺地域住民の交流を図るとともに、社会的、文化的向上をはかる重要な事業である。引き続き幅広く受講生の増加を目指す。

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
講座の新たな参加者確保のための広報方法について論議した。
- ②当該事業のアピール事項
人権課題の早期解決のため、地域及び周辺地域住民の交流を図るとともに、社会的、文化的向上をはかる重要な事業である。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
幅広い受講生の確保を図り、人権問題の早期解決を図る。